

シンポジウム「空間構造の動的挙動に関する 非線形解析の展望 今後 10 年を見据えて」

主催：日本建築学会 構造委員会 シェル・空間構造運営委員会 空間構造の動的非線形挙動に関する数値解
析小委員会

日時：2019年12月6日(金) 10:00～16:40

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

空間構造の動的挙動に関する既往の研究成果により、地震動や風荷重に対する空間構造特有の動的挙動の認識と動的設計の取り組みが定着しつつあるが、動的挙動に内在する非線形性は未曾有の不安定現象への引き金となりうる。また空間構造の動的応答を制御するための解析過程で遭遇する非線形性に対して合理的な手法の進展も望まれる。本シンポジウムでは空間構造の動的挙動に関する非線形解析の基礎理論を基礎編で、実践編では立体骨組構造、連続体シェル構造、膜構造、容器構造の動的挙動に関する非線形性を扱うための解析手法を解説するとともに今後 10 年間の構造解析技術の展望を議論する。

<プログラム（予定）>

1. はじめに 西村督（金沢工業大学）
 2. 基礎編 司会：緒方誠二郎（鹿島建設）
 - ① 非線形振動論を基礎とした動的非線形挙動の予測手法 萩原伸幸（大同大学）
 - ② TMD による空間骨組構造の応答制御設計法 山川誠（東京理科大学）
 - ③ 粒子モデル等による連成構造解析の手法と解析ツール 柴田良一（岐阜工業高等専門学校）
 3. 実践編 司会：緒方誠二郎（前掲）
 - ④ 耐震性を考慮した置屋根支承の応答性状 向山洋一（巴コーポレーション）
 - ⑤ コンクリート系のアーチおよびシェルの動的非線形挙動 武藤厚（名城大学）
 - ⑥ 大変形する膜構造の流体・構造連成解析 吉野達矢（太陽工業）
 - ⑦ 円筒石油貯槽の地震時液面揺動と浮屋根の動的非線形挙動 松井徹哉（名古屋産業科学研究所）
 4. まとめ 柴田良一（前掲）
- 記録：山本憲司（東海大学）

参加費：会員 5000 円、会員外 6000 円、学生 2000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：80 名（申込み先着順）

申込方法：本会 Web サイト「催し物・公募」一覧よりお申し込みください。

申込ページ <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=625035>

問合せ：日本建築学会事務局 中村亮輔 TEL：03-3456-2057 E-mail：nakamura@aij.or.jp